

発明推進協会・大阪発明協会共催企画

2日間

AI活用×侵害予防調査・無効化調査 のノウハウ

～AIに任せる部分と人が担う部分を見極め、
調査品質を維持する実務ノウハウ～

難易度
中級

講師	酒井 美里 氏	スマートワークス株式会社 代表取締役	
日時	2026年2月18日(水), 19日(木) 13:30~16:30		

- ◆生成AIが急速に普及する中、侵害予防調査・無効資料調査では"AIをどこに活かし、どこに使ってはいけないか"の見極めが重要です。
- ◆本講座では、調査方針の設計、公報の読解、AI出力の検証方法に加え、実務で使える 専用プロンプト（権利行使予測／予備調査用）を配布。
- ◆ AI時代でも陳腐化しない"プロの判断力"を体系的に身につけます。

【解説内容】

テキストはPDFで共有させていただきます

1. 侵害予防調査 × AI活用（3時間）

- ・AI時代の侵害予防調査：使うべき場面／使えない場面
- ・現場ヒアリングの再構築（AIで漏れを可視化）
- ・調査方針の設計（構造化・言い換え・代替語抽出）
- ・AI生成検索式のチェック方法
- ・公報読解：AIの誤要約パターンと判断軸
- ・ケーススタディ（AI案 vs プロ案）

2. 無効資料調査 × AI活用（3時間）

- ・AIはなぜ判断を誤るのか：モデル構造から見る解釈の癖
- ・調査方針の決定とA I 活用
- ・多角的検索の設計（KW／FI／機能／Perplexity）
- ・引例候補の絞り込みと A I の失敗しやすい点
- ・AI時代の「べき・べからず集」
- ・ケーススタディ（成功・失敗事例）

特典：権利行使予測GPT、ヒアリング設計プロンプト配布

※極力多くの受講者の方に理解を深めていただくために、講座内容・プログラムの一部を変更する場合がございます。
あらかじめ、ご了承ください。



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 &
アーカイブ配信も実施（各講義翌日から2週間）

・聞き逃しても安心！期間内はなんどでも。
・再生速度を変更可能！